専門教育科目	演習科目	受講料	5,000円

科目名：	個人情報保護法	科目コード	HH10
		単位	2
科目主査： 齊藤 聡	担当講師： 齊藤 聡	配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

この授業は、「個人情報とは何か」を明確に理解し、①「個人情報を守る」とともに、②「個人情報を利用できる」ようになることが目的です。GAFAと呼ばれる大企業は、個人情報をうまく利用し成長を遂げています。個人情報保護法の制定が遅れた日本は、大きなビジネスチャンスを逃してきました。人工知能（AI及び生成AI）や量子コンピュータの登場で、大量の個人データから、将来を予測したり、隠れた行動ルールを見つけたりすることができるようになってきています。この授業では、個人情報保護法の大切さを理解した上で、その利用を考えます。個人情報利用の事例を映像で紹介しながら、先進企業の実態を把握し、保護と利用のバランスを探ります。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	個人情報を利用して成功している企業に関心がある方を期待しています。	
テキスト	『個人情報保護法の知識 第５版』岡村 久道, 日本経済出版社, 2021年	

この科目の 到達目標	①個人情報保護法の概要を理解できる。 ②個人情報取扱事業者の責任を理解できる。 ③個人情報の利用実態を理解し、法令を遵守しながら、個人情報を利用できる。 ④個人情報の利用価値を認識し、今後のビジネス展開に応用できる。
成績評価 の 方 法	授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	授業中に取り上げられる事例には限りがあります。新聞、情報、ネット（ユーチューブ等）を利用して多数の事例にあたりましょう。
事後学習の 参考文献	インターネットを通して安価なコストで様々な情報を入手することができます。意識的な情報収集を勧めます。

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 ☑学生証